

「ごみ減量」は快適環境に向けた次世代への架け橋です!

集団回収や区の資源回収により資源がリサイクルされている一方で、さらなるごみの減量をお願いしているのはなぜでしょうか?その理由は2つあります。

一つ目は資源の有効活用を図り、循環型社会を作るためです。二つ目は東京湾にある23区が使える唯一の埋立処分場を少しでも長く使うためです。

今号では23区が使える唯一の処分場「中央防波堤埋立最終処分場」の現状と次世代に快適環境を引き継ぐための行動としての「ごみ減量」の取り組みを紹介します。

ごみ処理と埋立てまでのながれ



区で収集・運搬します。



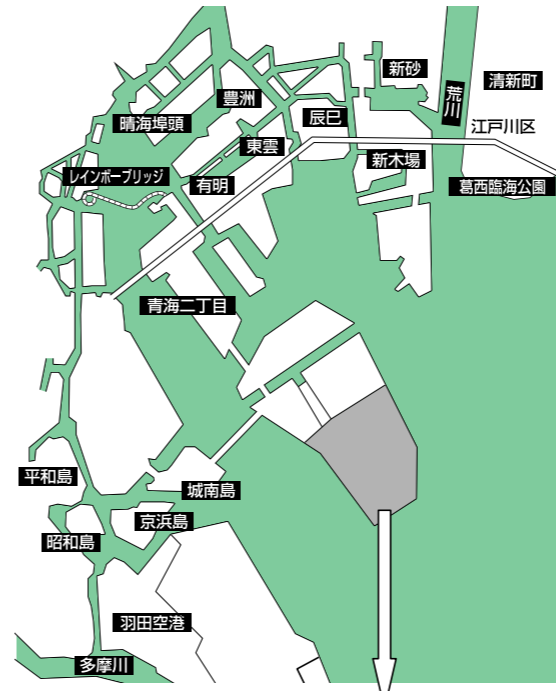
可燃ごみは清掃工場で焼却し、不燃ごみは中間処理施設で細かくします。



中間処理されたごみは、処分場に運び込む前に重さを量ります。



3mごみを重ねた後、50cm覆土します。



現在使用している新海面処分場。現在ごみの発生量から推計すると約30年の寿命と推定されています。

処分場を長く使うために3Rを実践しよう!

一つ目のRはリデュース(発生抑制)

- ごみを出さない生活を心がける。
- ・過剰な包装やレジ袋は断るようにする。
 - ・購入する前に本当に必要なものか考える。

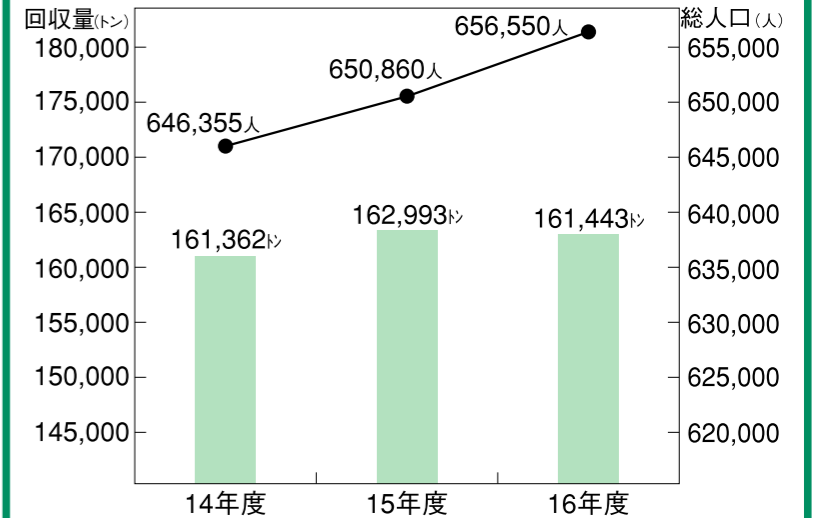
二つ目のRはリユース(再使用)

- 物を長く使う
- ・修理をして長く使う。
 - ・不用品は、リサイクルショップ等を利用する。

三つ目のRはリサイクル(再資源化)

- 資源として再利用する。
- ・新聞、雑誌、段ボール、アルミ缶などの資源は地域の集団回収でリサイクルする。
 - ・週1回の区の資源回収に出す。

江戸川区のごみ量の推移(可燃・不燃・粗大)

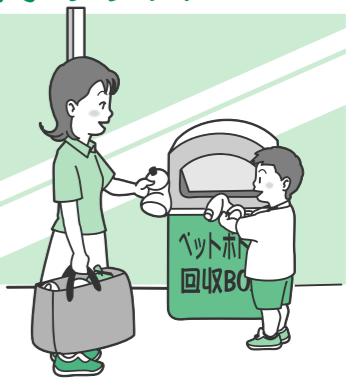


区内の人口は毎年増加していますが、区内のごみ量は横ばい状態にあります。このことは、ごみの減量とリサイクルの取り組みの成果です。しかし全体的なごみ量としては依然として多いので、さらなる努力が必要です。

ペットボトルは資源です。

お近くの店頭回収ボックスへお出してください。

不燃ごみの中にまだまだペットボトルが多く含まれています。不燃ごみに混ざって出されれば、そのまま埋立てられることとなりますが、資源として回収すれば新しいペットボトルの原料や化学繊維としてリサイクルできるのです。ペットボトルは、スーパー・コンビニ・酒店などの店頭回収ボックスへお出ください。区で回収してリサイクルしています。



みなさんのご協力をお願いします

ごみの減量

区内の高校生も取り組んでいます

都立紅葉川高校

ごみの減量には私たち一人ひとりが意識を持って、日ごろからごみを出さない生活やごみと資源の分別を行うことが大切です。区内にある都立紅葉川高校でも独自の「美化マニュアル」を作成し、全校あげてごみの減量とリサイクル活動に取り組んでいます。



独自の美化マニュアルを策定。



ペットボトルのラベルをはがし、すすいで潰しています。



一斉清掃活動の様子。最後に学校の周囲を清掃します。



ごみを捨てる前に度々、別の容器にあげて分別を徹底している。

清掃リサイクルクイズ

正解者の中から抽選で10名様にリサイクルキャラクター「くるん」のマスコットを差しあげます。

問題

下の○に文字を入れて江戸川区リサイクル標語を完成させよう。

○ ○ ○ ○ ○ 次の時代に 夢運ぶ

応募方法 / ハガキに①クイズの答え②郵便番号、住所③氏名、年齢④電話番号を記入のうえ、下記まで応募してください。

締切 / 平成17年9月30日(金)当日消印有効

応募先 / 〒132-8501 江戸川区役所 環境防災部 清掃・リサイクル課 リサイクル推進係

※発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

